

平成29年度杉並区事務事業評価表(1)

(00445)

事務事業名称 一般廃棄物処理管理事務			款 06	項 01	目 03	事業 001	整理番号 465			
現担当課名 ごみ減量対策課		係名 管理係	連絡先電話番号 3723		昨年度整理番号 461					
上位施策No・施策名 10 ごみの減量と資源化の推進						予算事業区分 既定事業				
事業開始 平成12年度		実行計画事業 目標 03	施策 10	計画事業 01						
平成28年度担当課名 ごみ減量対策課						事業評価区分 一般				
事務事業の概要	対象		家庭廃棄物及び事業系一般廃棄物 一般廃棄物処理業者	根拠法令等 (1) (2)	廃棄物の処理及び清掃に関する法律 杉並区廃棄物の処理及び再利用に関する条例					
	事業の目的・目標(対象をどのような状態にしたいのか)		廃棄物の分別状態を適正にし、より円滑な廃棄物処理を可能にしていく。 一般廃棄物処理基本計画に定めた目標値の達成を目指す。	活動指標 指標名(1) 指標説明 指標名(2)	一般廃棄物処理業者許可(新規・更新)件数 収集車両台数(週前後半1日平均)					
	活動内容(事務事業の内容、やり方、手段)		適正な排出処理に向けた基盤づくり。 一般廃棄物処理業者への助言・指導。 在宅医療廃棄物(使用済注射針)回収事業に対する薬剤師会へ補助(事業費の1/2)を行う。 杉並区一般廃棄物処理基本・実施計画の策定。 清掃事務所作業計画策定。 清掃リサイクル事業の基礎データ収集。	成果指標 指標名(1) 指標説明 指標名(2) 指標説明	事業系一般廃棄物(普通ごみ)搬入量(持込ごみ量) 指定処理施設(清掃工場等)への事業系一般廃棄物総搬入量 一般廃棄物の処理施設搬入量 指定処理施設(清掃工場等)への家庭廃棄物総搬入量(可燃・不燃・粗大)					
区分		単位	平成26年度 実績	平成27年度 計画	平成27年度 実績	平成28年度 計画 (目標値)	平成28年度 実績	平成29年度 計画	平成28年度 対計画比(%)	
指標	活動指標(1)	1 件	118	141	148	121	116	154	95.9	
	活動指標(2)	2 台	117	128	128	119	119	120	100.0	
	成果指標(1)	3 t	24,779	24,457	25,034	24,709	25,533	25,482	103.3	
	成果指標(2)	4 t	99,555	70,445	98,828	68,978	96,630	73,484	140.1	
総事業費・コスト把握	事業費	5 千円	1,924	5,794	5,185	1,924	1,689	2,727	平成28年度 予算執行率(%) 87.8	
	(内)投資的経費等	6 千円	0	0	0	0	0	0	特記事項 受益者負担分は、一般廃棄物処理業許可及び浄化槽清掃業許可の手数料収入です。 予算執行率90%未満の理由は、需用費の支出が職員の節減努力により、想定より少なく済んだことによる。	
	(内)委託費	7 千円	131	4,060	3,671	130	105	130		
	職員数	常勤職員数	8 人	1.59	2.10	1.69	1.65	1.56		1.90
		再任用職員数	9 人	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00		0.00
		非常勤職員数	10 人	0.55	0.60	0.60	0.60	0.90		0.40
	人件費	常勤職員分	11 千円	14,008	18,501	14,782	14,433	13,357		16,268
		再任用職員分	12 千円	0	0	0	0	0		0
		非常勤職員分	13 千円	1,557	1,698	1,761	1,761	2,674		1,188
	総事業費(5+11+12+13)	14 千円	17,489	25,993	21,728	18,118	17,720	20,183		
	単位当たりコスト((14-6)÷1)	15 円	148,212	184,348	146,811	149,736	152,759	131,058		
	財源	受益者負担分	16 千円	1,200	1,431	1,498	1,231	1,180		1,561
		国からの補助金等	17 千円	0	0	0	0	0		0
		都からの補助金等	18 千円	0	0	0	0	0		0
その他の補助金等		19 千円	0	0	0	0	0	0		
特定財源計(16+17+18+19)		20 千円	1,200	1,431	1,498	1,231	1,180	1,561		
差引:一般財源(14-20)		21 千円	16,289	24,562	20,230	16,887	16,540	18,622		
受益者負担比率(16÷14)	22 %	6.9	5.5	6.9	6.8	6.7	7.7			

平成29年度杉並区事務事業評価表（2）

			整理番号	465	
平成28年度の事業実施状況	(1) 主な取組	内容	規模	単位	事業費(千円)
		廃棄物情報管理システム保守管理			
		全国都市清掃会議負担金の支出ほか			388
		在宅医療廃棄物回収支援	1	団体	300
		その他(複合機保守点検委託ほか)			282
(2) 事業実績	<p>一般廃棄物収集運搬許可業者の立入検査を実施し、助言・指導を実施しました。 杉並区薬剤師会の在宅医療廃棄物(使用済注射針)回収事業に対して補助を行い、廃棄物の適正処理に努めました。</p>				
事業環境の変化と方向性	事業開始当初から現在までの変化	<p>平成12年度から清掃事業が都から区へ移管されました。一般廃棄物処理業及び浄化槽清掃業の許可事務は、平成17年度までは区への円滑移行を図るため、経過的に東京二十三区清掃協議会で事務を行い、平成18年度から平成24年度まで区が行いました。平成25年度からは東京二十三区清掃協議会による共同処理となりました。 平成15年度から杉並区薬剤師会の在宅医療廃棄物(使用済注射針)回収事業に対して補助を本格実施しました。平成28年度からは助成額を20万円から30万円に増額しました。 平成25年7月に杉並区一般廃棄物処理基本計画(平成25年度～平成33年度)を策定しました。</p>			
	事業に対する意見(事業に対する期待・要望・苦情など)	<p>特にありません。</p>			
	今後(3～5年)の予測と方向性	<p>平成29年度の杉並区一般廃棄物処理基本計画の改定を受けて、ごみの減量等の目標数値の見直しと確実な達成を目指していきます。</p>			
評価と課題	<p>平成28年度も前年までと同様、杉並区一般廃棄物処理基本計画の取組を着実に実施したことにより、数値目標に近づけることができました。 区収集ごみ量：目標：500g/人日、実績：474g/人日 資源回収率：目標：29.1%、実績：28.0%</p> <p>平成29年度は、平成25年7月に策定した杉並区一般廃棄物処理基本計画の改定をする予定であり、今後も更なるごみの減量を目指した新たな減量手法を確立していきます。</p>				
翌年度の方針	翌年度予算の方向性(見直しの視点)	I 事業コストの方向性	現状維持		
	II 事業の改善の方向性	手段・方法の見直し(改善)			
翌年度予算の方向性の理由・内容	<p>平成29年度の杉並区一般廃棄物処理基本計画改定を受けて、ごみの減量等の数値目標の確実な達成を目指していきます。 一般廃棄物処理業等許可事務については東京二十三区清掃協議会による23区共同処理となりましたが、区は必要に応じて立入検査や行政指導等を行うことで、事業所から排出されるごみの適正処理の徹底を図ります。 在宅医療廃棄物については適正処理のために、平成28年度に補助の助成額を10万円増額したものを継続し、事業の適正な運営に努めていきます。</p>				

平成29年度杉並区事務事業評価表(1)

(00446)

事務事業名称			ごみの減量と資源化の推進				款	06	項	01	目	03	事業	002	整理番号	466														
現担当課名			ごみ減量対策課		係名		事業計画係			連絡先電話番号		3725		昨年度整理番号		462														
上位施策No・施策名											10		ごみの減量と資源化の推進				予算事業区分		既定事業											
事業開始											平成13年度		実行計画事業		目標		03		施策		10		計画事業		01		02		主要事業(区政経営報告書掲載事業)	
平成28年度担当課名											ごみ減量対策課												事業評価区分		一般					
対象											区民・事業者・産業団体等				根拠法令等		(1)		廃棄物の処理及び清掃に関する法律											
															(2)		循環型社会形成推進基本法													
事務事業の概要											事業の目的・目標(対象をどのような状態にしたいのか)				活動指標		啓発物(パンフレット、冊子)延べ配布部数													
											啓発活動を通して、区民のごみ減量への意識を高めつつ、ごみの発生抑制や再利用、再生利用の手法により、ごみ減量を実現する。区民・事業者・行政の協働により、普及啓発や家具のリユースや集団回収への取組みを進め、ごみの発生抑制とリサイクルの意識を高める。				指標名(1)		平成28年度実績分より、チラシ枚数は除外した													
											活動内容(事務事業の内容、やり方、手段)				指標説明		集団回収実施団体数													
											ごみの減量を推進するため、ごみ・資源の収集力センターをはじめとする各種啓発物の発行や小中学校への環境学習により、啓発活動を行う。資源の集団回収団体に対し報奨金・支援物品を支給する。資源化を推進するため、小型家電15品目を拠点回収し、希少金属を再資源化業者に引き渡す。				成果指標		ごみ量削減率(対前年度比)													
															指標名(1)		当該年度家庭ごみ量÷前年度家庭ごみ量													
															指標説明		資源回収率													
															指標名(2)		(区資源回収量+集団回収量)÷(家庭ごみ量+区資源回収量+集団回収量)													
															指標説明															
区分		単位	平成26年度	平成27年度		平成28年度		平成29年度	平成28年度																					
			実績	計画	実績	計画(目標値)	実績	計画	対計画比(%)																					
指標	活動指標(1)	1	枚	606,350	591,350	606,350	606,350	480,700	480,700	79.3																				
	活動指標(2)	2	団体	444	443	457	469	468	487	99.8																				
	成果指標(1)	3	%	96.7	98	99.3	98	97.8	98	99.8																				
	成果指標(2)	4	%	28.5	28.9	28.4	29.1	28.1	29.9	96.6																				
総事業費・コスト把握	事業費	5	千円	75,609	86,216	79,735	91,924	83,032	98,358	平成28年度予算執行率(%)	90.3																			
	(内)投資的経費等	6	千円	0	0	0	0	0	0	特記事項																				
	(内)委託費	7	千円	18,152	17,219	17,145	21,466	20,780	25,137																					
	職員数	常勤職員数	8	人	7.79	7.27	7.47	6.80	6.68	7.05																				
		再任用職員数	9	人	1.10	1.40	1.10	0.70	0.50	0.50																				
		非常勤職員数	10	人	0.15	0.15	0.15	0.85	0.85	1.00																				
	人件費	常勤職員分	11	千円	68,630	64,049	65,340	59,480	57,194	60,362																				
		再任用職員分	12	千円	4,455	5,670	4,553	2,897	2,195	2,195																				
		非常勤職員分	13	千円	425	425	440	2,495	2,525	2,971																				
	総事業費(5+11+12+13)	14	千円	149,119	156,360	150,068	156,796	144,946	163,886																					
	単位当たりコスト((14-6)÷1)	15	円	246	264	247	259	302	341																					
	財源	受益者負担分	16	千円	368	0	0	0	0	0																				
		国からの補助金等	17	千円	0	0	0	0	0	0																				
		都からの補助金等	18	千円	0	0	0	0	0	0																				
その他の補助金等		19	千円	0	0	0	0	0	0																					
特定財源計(16+17+18+19)		20	千円	368	0	0	0	0	0																					
差引:一般財源(14-20)		21	千円	148,751	156,360	150,068	156,796	144,946	163,886																					
受益者負担比率(16÷14)	22	%	0.2	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0																					

平成29年度杉並区事務事業評価表（2）

				整理番号	466
平成28年度の事業実施状況	(1) 主な取組	内 容	規模	単位	事業費（千円）
		ごみ・資源の収集カレンダーの発行	430,000	部	8,450
		清掃情報紙「ごみバックン」「ごみバックン中学生版」の発行	127,200	部	2,512
		集団回収団体報奨金の支払い	468	団体	42,099
		その他（集団回収支援消耗品の購入ほか）			29,971
(2) 事業実績	<p>ごみ・資源の収集カレンダーや清掃情報紙「ごみバックン」の発行、ごみ出しアプリを活用した適正な分別やごみ減量の普及啓発を継続して実施しました。また、平成28年11月からごみ出しアプリに翻訳機能を持たせ、外国人居住者にも配慮した対応を図りました。</p> <p>集団回収については、NPO法人すぎなみ環境ネットワークと協働で行っている団体募集のPRにより、活動団体数は増加している一方、図書や雑誌の電子化等により、回収量は減少しています。</p>				
事業環境の変化と方向性	事業開始当初から現在までの変化	<p>平成12年度に、「杉並区の清掃事業」、平成17年度から「ごみバックン」、平成18年度から小学4年生に「できることからはじめよう」を発行し、年代に応じた内容でごみの減量等を周知しています。また、平成20年からごみ・資源の収集カレンダーを発行しています。</p> <p>平成25年度には、スマートフォン用アプリ「なみすけのごみ出し達人（マスター）」を開発、配信し、平成29年3月末現在、約27,000ダウンロードされています。</p> <p>平成28年度からは、小学校4～6年生を対象とした新たな事業も開始しました。</p> <p>また、集団回収量は、平成23年度以降増加を続け、平成27年度以降からは減少しています。</p>			
	事業に対する意見（事業に対する期待・要望・苦情など）	<p>区で作成している「杉並区の清掃事業」、「ごみバックン」、「ごみ・資源の収集カレンダー」、ごみ出しアプリの配信を含め、今後もごみ減量の啓発活動を継続していくべきものと考えています。</p> <p>特に、「ごみバックン」については、「シンプルながら要点がわかりやすい」「なみすけのイラストが多用されていて見て楽しい」「最後に「読み終わって処分する時は、古紙（雑がみ）として資源回収にお出しください」との一文が、ユーモアが利いていてよい」などの意見が寄せられており、区民の方から好評を得ています。</p> <p>集団回収については、支援内容の充実を求められています。</p>			
	今後（3～5年）の予測と方向性	<p>区で作成している、「ごみ・資源の収集カレンダー」「ごみバックン」「杉並区の清掃事業」はいずれもおおむね好評であり、ごみ出しアプリの配信を含め、今後もごみ減量の啓発活動は継続していきます。</p> <p>今後は、「食品ロスの削減」を中心とした取組を行い、「杉並もったいない運動」として、事業を行っていきます。</p>			
	評価と課題	<p>平成28年度の区民一人1日当たりのごみ排出量は、6年連続で23区最少となる474gとなりました。</p> <p>今後も区民が主体となって取り組んでもらえるよう、ごみ減量の意義や適正な分別、処理経費削減の必要性などについて、様々な機会を通じて働きかけを行っていきます。また、あわせて家庭でのごみ減量や食品ロス削減への取組なども進めていきます。</p> <p>集団回収事業については、全体の回収量は減少していますが、良質な資源を確保していくため、回収団体数の増加に向けた支援を継続していきます。</p>			
翌年度の方針	翌年度予算の方向性（見直しの視点）	I 事業コストの方向性	現状維持		
	II 事業の改善の方向性	手段・方法の見直し（改善）			
翌年度予算の方向性の理由・内容	<p>「ごみ・資源の収集カレンダー」は、紙での周知媒体として好評を得ていますが、一方で毎年作成し、全戸配布する必要はないという意見もあります。内容や配布方法などについて、今後検討していきますが、平成30年度版については、現在の内容で全戸配布する予定です。</p>				

平成29年度杉並区事務事業評価表(1)

(00447)

事務事業名称		ごみ・し尿の収集・運搬				款	06	項	01	目	03	事業	003	整理番号	467				
現担当課名		ごみ減量対策課		係名		事業計画係		連絡先電話番号		3725		昨年度整理番号		463					
上位施策No・施策名										10		ごみの減量と資源化の推進				予算事業区分		既定事業	
事務事業の概要	事業開始		平成12年度		実行計画事業		目標		03		施策		10		計画事業		03		
	平成28年度担当課名		ごみ減量対策課										事業評価区分		一般				
	対象		区内一般家庭 事業者(排出日量50kg未満)				根拠法令等		(1)		廃棄物の処理及び清掃に関する法律								
									(2)		杉並区廃棄物の処理及び再利用に関する条例								
	事業の目的・目標(対象をどのような状態にしたいのか)		集積所等に分別・排出されたごみを、適正かつ効率的に収集・運搬します。区民が利用しやすいよう、収集サービスの向上を図ります。				活動指標		指標名(1)		ごみ(可燃、不燃、粗大)の収集量								
								指標説明		粗大ごみの収集点数									
活動内容(事務事業の内容、やり方、手段)		区民等が分別し排出した可燃ごみ・不燃ごみを中間処理施設に搬入する。粗大ごみは、受付、収集、中継所までの運搬を委託により実施する。				成果指標		指標名(1)		区民一人1日当たりのごみ排出量									
								指標説明		ごみ(可燃、不燃、粗大)の収集量÷杉並区人口÷365日									
								指標名(2)		1t当たりのごみ・し尿収集運搬コスト									
								指標説明		ごみ・し尿収集運搬コスト(事業費)÷ごみ収集量									
区分		単位		平成26年度		平成27年度		平成28年度		平成29年度		平成28年度							
				実績		計画		実績		計画(目標値)		実績		対計画比(%)					
指標	活動指標(1)		1 t		99,555		99,497		98,828		98,536		96,630		96,945 98.1				
	活動指標(2)		2 点		474,359		488,000		506,649		500,000		507,782		500,000 101.6				
	成果指標(1)		3 g/人・日		498		505		490		490		474		491 96.7				
	成果指標(2)		4 円/t		16,173		16,730		16,613		17,277		16,694		15,831 96.6				
総事業費・コスト把握	事業費		5 千円		1,610,081		1,664,579		1,641,839		1,681,422		1,643,145		1,534,717 平成28年度予算執行率(%) 97.7				
	(内)投資的経費等		6 千円		0		0		0		0		0		0 特記事項				
	(内)委託費		7 千円		1,598,013		1,631,407		1,623,584		1,642,856		1,614,854		1,516,464				
	職員数	常勤職員数		8 人		161.49		151.66		166.21		153.70		160.98		144.55			
		再任用職員数		9 人		14.31		11.19		10.61		9.00		10.75		7.00			
		非常勤職員数		10 人		0.00		0.00		0.00		0.30		0.00		1.00			
	人件費	常勤職員分		11 千円		1,422,727		1,336,125		1,453,839		1,344,414		1,378,311		1,237,637			
		再任用職員分		12 千円		57,956		45,320		43,915		37,251		47,193		30,730			
		非常勤職員分		13 千円		0		0		0		881		0		2,971			
	総事業費(5+11+12+13)		14 千円		3,090,764		3,046,024		3,139,593		3,063,968		3,068,649		2,806,055				
	単位当たりコスト((14-6)÷1)		15 円		31,046		30,614		31,768		31,095		31,757		28,945				
	財源	受益者負担分		16 千円		330,746		337,671		329,767		347,441		328,158		383,733			
		国からの補助金等		17 千円		0		0		0		0		0		0			
		都からの補助金等		18 千円		0		0		0		0		0		0			
その他の補助金等		19 千円		0		0		0		0		0		0					
特定財源計(16+17+18+19)		20 千円		330,746		337,671		329,767		347,441		328,158		383,733					
差引:一般財源(14-20)		21 千円		2,760,018		2,708,353		2,809,826		2,716,527		2,740,491		2,422,322					
受益者負担比率(16÷14)		22 %		10.7		11.1		10.5		11.3		10.7		13.7					

平成29年度杉並区事務事業評価表（2）

整理番号 467

平成28年度の事業実施状況	(1) 主な取組	内 容	規模	単位	事業費（千円）
		収集・運搬車両経費（可燃・不燃）			1,220,804
		粗大ごみの収集運搬委託			302,558
		し尿の収集・運搬	27	戸	15,593
		収集作業員人件費（臨時）	2,565	人	25,118
	その他（賃借料・委託料・消耗品購入ほか）			79,072	
(2) 事業実績	ごみ量は着実に減少していますが、杉並清掃工場建替期間中は他区の清掃工場への搬入による、車両経費が増加しています。				

事業環境の変化と方向性	事業開始当初から現在までの変化	<table border="1"> <tr> <td>可燃ごみ量</td> <td>平成12年度</td> <td>108,401 t</td> <td>平成28年度</td> <td>90,018 t</td> <td>対平成12年度比</td> <td>約17%減</td> </tr> <tr> <td>不燃ごみ量</td> <td>平成12年度</td> <td>25,288 t</td> <td>平成28年度</td> <td>3,054 t</td> <td>対平成12年度比</td> <td>約88%減</td> </tr> <tr> <td>粗大ごみ量</td> <td>平成12年度</td> <td>4,919 t</td> <td>平成28年度</td> <td>3,559 t</td> <td>対平成12年度比</td> <td>約28%減</td> </tr> <tr> <td>総計</td> <td>平成12年度</td> <td>138,608 t</td> <td>平成28年度</td> <td>96,630 t</td> <td>対平成12年度比</td> <td>約30%減</td> </tr> </table>	可燃ごみ量	平成12年度	108,401 t	平成28年度	90,018 t	対平成12年度比	約17%減	不燃ごみ量	平成12年度	25,288 t	平成28年度	3,054 t	対平成12年度比	約88%減	粗大ごみ量	平成12年度	4,919 t	平成28年度	3,559 t	対平成12年度比	約28%減	総計	平成12年度	138,608 t	平成28年度	96,630 t	対平成12年度比	約30%減
	可燃ごみ量	平成12年度	108,401 t	平成28年度	90,018 t	対平成12年度比	約17%減																							
	不燃ごみ量	平成12年度	25,288 t	平成28年度	3,054 t	対平成12年度比	約88%減																							
粗大ごみ量	平成12年度	4,919 t	平成28年度	3,559 t	対平成12年度比	約28%減																								
総計	平成12年度	138,608 t	平成28年度	96,630 t	対平成12年度比	約30%減																								
事業に対する意見（事業に対する期待・要望・苦情など）	資源の分別に関する問い合わせが、多く寄せられており、ごみ減量行動の実践、意識が浸透してきています。また悪天候の中での収集作業に対し、感謝の声も多く届いています。一方、ごみ集積所の管理は、特定の利用者には負担が大きく、ごみの出し方のマナーなどによるトラブルが発生していることから、戸別収集を希望する声も寄せられています。																													
今後（3～5年）の予測と方向性	ごみ量は平成25年度に改定した、杉並区一般廃棄物処理基本計画に基づく、ごみ排出量の削減や資源化の推進、適正排出のための具体的な取組みなどにより、年々減少しています。一方で、共働きや高齢世帯等の増加により、集積所数は年々、増加しています。																													
評価と課題	平成28年度の、杉並区民一人1日あたりのごみ量は474gと、前年度と比較して16g減少しました。しかし、平成29年9月までの杉並清掃工場の建替期間中は、他区の清掃工場へごみを運搬するため、収集車を増車して対応しています。不燃ごみからの再資源化については、平成29年10月から区内全域に拡大し、実施していきます。事業系ごみの収集においては、平成29年10月に廃棄物処理手数料の改定を予定しています。今後も適正なごみ処理券の貼付に向けた周知・指導を行っていきます。																													

翌年度予算の方向性（見直しの視点）	I 事業コストの方向性	現状維持
	II 事業の改善の方向性	手段・方法の見直し（改善）
翌年度予算の方向性の理由・内容	杉並清掃工場稼働に伴い、近距離で運搬できることになることから、車両台数が約半数となり、経費は減少します。今後も引き続き収集コストの抑制を図りつつも、ごみ量のみならず、ごみ集積所数やふれあい収集の件数増加に対応するため、効率的な収集体制を確立していきます。また、粗大ごみや不燃ごみの資源化の実施による、金属等の売払による歳入の確保や、資源の有効活用にも努めていきます。	

平成29年度杉並区事務事業評価表（1）

（00448）

事務事業名称			ごみ運搬の中継業務				款	06	項	01	目	03	事業	004	整理番号	468		
現担当課名			杉並清掃事務所		係名		管理係		連絡先電話番号			3323-4571		昨年度整理番号	464			
上位施策No・施策名											10		ごみの減量と資源化の推進				予算事業区分	既定事業
事務事業の概要	事業開始		平成12年度	実行計画事業		目標	03	施策	10	計画事業		02	主要事業（区政経営報告書掲載事業）					
	平成28年度担当課名		杉並清掃事務所									事業評価区分		一般				
	対象		収集した粗大ごみ・不燃ごみ				根拠法令等		(1)		廃棄物の処理及び清掃に関する法律							
									(2)		杉並区廃棄物の処理及び再利用に関する条例							
	事業の目的・目標（対象をどのような状態にしたいのか）		中型車に積替えることで運搬車両台数を減らし、運搬コストの節減と環境への負荷を軽減する。 ごみの減量と資源の有効活用を進める。 堀ノ内中継所を適切に管理運営し、効率的な搬入・搬出を行う。				活動指標		指標名（1）		粗大ごみ搬入台数							
								指標説明		堀ノ内中継所に粗大ごみを搬入した車両台数								
								指標名（2）		不燃ごみ搬入量								
								指標説明		堀ノ内中継所に搬入した不燃ごみ量								
活動内容（事務事業の内容、やり方、手段）		小型車で収集した粗大ごみを中型車へ積替え、処理施設へ搬出する。 収集した不燃ごみの選別を行い、有用金属等の資源回収を行う。 堀ノ内中継所（民間施設）の管理運営を行う。				成果指標		指標名（1）		（粗大ごみ搬入台数） - （中継車両搬出数）								
								指標説明		減車台数								
								指標名（2）		粗大・不燃ごみ資源化量								
								指標説明		堀ノ内中継所で選別した資源量（再資源化施設に運ばれた金属分を含む粗大ごみと不燃ごみ金属分）								
区分		単位	平成26年度	平成27年度		平成28年度		平成29年度	平成28年度									
			実績	計画	実績	計画（目標値）	実績	計画	対計画比（%）									
指標	活動指標（1）	1	台	11,782	11,700	11,683	11,700	11,644	11,700	99.5								
	活動指標（2）	2	t	1,454	2,860	2,379	2,860	2,284	3,414	79.9								
	成果指標（1）	3	台	9,464	8,887	9,268	9,026	9,220	9,075	102.1								
	成果指標（2）	4	t	1,240	1,410	1,309	1,410	1,208	1,440	85.7								
総事業費・コスト把握	事業費	5	千円	188,767	231,487	222,678	233,209	229,290	262,480	平成28年度予算執行率（%）	98.3							
	（内）投資的経費等	6	千円	0	0	0	0	0	0	特記事項								
	（内）委託費	7	千円	159,605	202,272	193,526	203,994	200,158	230,491	平成26年度から不燃ごみの有用金属の選別を開始した。（平成26年度方南地域1/3、平成27年度方南全域及び本所地域1/3、平成29年10月から区内全域対象予定）								
	職員数	常勤職員数	8	人	1.37	1.37	1.40	1.30	1.47	1.50								
		再任用職員数	9	人	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00								
		非常勤職員数	10	人	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00								
	人件費	常勤職員分	11	千円	12,070	12,070	12,246	11,371	12,586	12,843								
		再任用職員分	12	千円	0	0	0	0	0	0								
		非常勤職員分	13	千円	0	0	0	0	0	0								
	総事業費	14	千円	200,837	243,557	234,924	244,580	241,876	275,323									
	単位当たりコスト	15	円	17,046	20,817	20,108	20,904	20,773	23,532									
	財源	受益者負担分	16	千円	50,546	56,182	49,899	55,446	45,048	55,311								
		国からの補助金等	17	千円	0	0	0	0	0	0								
		都からの補助金等	18	千円	0	0	0	0	0	0								
その他の補助金等		19	千円	0	0	0	0	0	0									
特定財源計		20	千円	50,546	56,182	49,899	55,446	45,048	55,311									
差引：一般財源		21	千円	150,291	187,375	185,025	189,134	196,828	220,012									
受益者負担比率	22	%	25.2	23.1	21.2	22.7	18.6	20.1										

平成29年度杉並区事務事業評価表（2）

				整理番号	468
平成28年度の事業実施状況	(1) 主な取組	内 容	規模	単位	事業費（千円）
		粗大ごみ中継車両借上経費	2,424	台	102,700
		粗大ごみ中継業務委託			31,508
		特定家庭用機器の運搬業務委託			801
		不燃ごみ中継業務委託			65,146
		その他（堀ノ内中継所土地等賃貸借及び電気使用料）			29,135
平成28年度の事業実施状況	(2) 事業実績	<p>粗大ごみは、堀ノ内中継所で中型プレス車に積み替えることにより、運搬車両台数を約1/5に削減し、輸送コスト削減と環境への負荷軽減に努めました。粗大ごみ収集車両延べ11,644台で収集した粗大ごみは、中型プレス車1,959台で破砕処理施設へ運搬し、金属分を多く含むパイプ椅子や自転車等は中型プレス車465台で再資源化処理施設へ運び売却しました。不燃ごみも堀ノ内中継所で資源化可能な鍋やフライパン等の金属分を多く含むものを選別し、資源の有効活用を進めました。</p>			
事業環境の変化と方向性	事業開始当初から現在までの変化	<p>平成13年4月に家電リサイクル法が施行され、粗大ごみから家電機器4品目（エアコン、冷蔵庫、テレビ、洗濯機）が対象となりました。平成21年4月には新たに2品目（衣類乾燥機、液晶・プラズマテレビ）が対象となりました。平成24年1月から新たな粗大ごみ受付システムを稼働しました。平成25年度からごみの減量と資源の再利用化のため、粗大ごみの有用金属の選別を行い、事業者へ売却しています。平成26年度から不燃ごみの有用金属を選別し再資源化処理事業者へ売却しています。また、スプレー缶等危険物の除去（適正処理ののち再資源化）や蛍光管等の水銀含有物の処分委託を行っています。平成26年度に1kgあたり20円台だった有用金属の売却単価は、平成28年度中に3円台まで下落しましたが、15円台まで回復しました。</p>			
	事業に対する意見（事業に対する期待・要望・苦情など）	<p>「粗大ごみ等から有用金属を選別し、資源の有効活用やごみの減量を進めてほしい。」との意見が寄せられています。</p>			
	今後（3～5年）の予測と方向性	<p>平成29年10月から不燃ごみの有用金属類の選別を区内全域で実施します。そのため、有用金属類回収量の増加が見込まれ、不燃ごみの減量につながります。また、有用金属の売却単価が上昇すれば、歳入増につながります。</p>			
評価と課題		<p>この事業は、運搬コストの削減と車両走行距離を短くすることによる環境への負荷の軽減を主目的として開始しましたが、現在はごみの減量につながる不燃ごみの資源化を進めるためにも、有効な事業となっています。不燃ごみの資源化は中央防波堤外側埋立処分場及び新海面処分場の延命化のためにも、強く求められており、今後も検討・工夫を重ね、ごみの再資源化を着実に進め、ごみの減量と資源の有効活用を推進していきます。</p>			
翌年度の方針	翌年度予算の方向性（見直しの視点）	I 事業コストの方向性	現状維持		
		II 事業の改善の方向性	手段・方法の見直し（改善）		
翌年度の方針	翌年度予算の方向性の理由・内容	<p>今後はさらなる資源化を進めていくために委託費等の増額も考えられます。委託経費は適宜見直しを行い、安全で効率的な堀ノ内中継所の運営に努めます。</p>			

平成29年度杉並区事務事業評価表（1）

（00449）

事務事業名称		資源の回収			款	06	項	01	目	03	事業	005	整理番号	469		
現担当課名		杉並清掃事務所			係名			資源対策係			連絡先電話番号	3317-6771	昨年度整理番号	465		
上位施策No・施策名										10		ごみの減量と資源化の推進			予算事業区分	既定事業
事務事業の概要	事業開始	平成11年度														
	平成28年度担当課名	杉並清掃事務所														
	対象	資源の排出者			根拠法令等	(1)		廃棄物の処理及び清掃に関する法律								
						(2)		杉並区廃棄物の処理及び再利用に関する条例								
	事業の目的・目標（対象をどのような状態にしたいのか）	再商品化が可能な古紙、びん、缶、ペットボトル、プラスチック製容器包装を分別収集することにより、ごみの減量と貴重な資源の回収を推進する。			活動指標	指標名（1）		資源回収量（行政回収分）								
					指標名（2）											
活動内容（事務事業の内容、やり方、手段）	ごみ・資源の集積所に排出された資源（古紙・びん・缶・ペットボトル・プラスチック製容器包装）を回収し、中間処理施設に搬入する。中間処理施設で選別・圧縮・梱包等した後、再商品化施設に引き渡し、再商品化する。			成果指標	指標名（1）		資源回収率（本事務事業では資源回収量に小型家電・金属の回収量は含みません。）									
					指標名（2）		資源回収量（行政回収分）÷【家庭ごみ量＋資源回収量（行政回収分）】									
					指標説明		資源の回収コスト									
					指標説明		資源回収コスト（事業費）÷資源回収量（行政回収分）									
区分		単位	平成26年度	平成27年度		平成28年度		平成29年度	平成28年度							
			実績	計画	実績	計画（目標値）	実績	計画	対計画比（%）							
指標	活動指標（1）	1	t	31,491	32,675	31,152	32,851	30,168	30,629	91.8						
	活動指標（2）	2														
	成果指標（1）	3	%	24.0	26.0	24.0	25.3	23.8	24.2	94.1						
	成果指標（2）	4	円/t	71,125	70,964	72,773	69,985	75,274	77,032	107.6						
総事業費・コスト把握	事業費	5	千円	2,239,807	2,318,739	2,267,031	2,299,082	2,270,872	2,359,407	平成28年度 予算執行率(%) 98.8						
	（内）投資的経費等	6	千円	0	0	0	0	0	0	特記事項						
	（内）委託費	7	千円	2,223,685	2,302,860	2,251,153	2,284,443	2,256,613	2,344,713	本事務事業では、区資源回収量には小型家電・金属の回収量は含みません						
	職員数	常勤職員数	8	人	10.00	7.82	7.47	7.65	8.47	8.40						
		再任用職員数	9	人	0.60	0.30	0.60	0.30	0.50	0.50						
		非常勤職員数	10	人	0.00	1.00	0.00	0.00	0.00	0.00						
	人件費	常勤職員分	11	千円	88,100	68,894	65,340	66,915	72,520	71,921						
		再任用職員分	12	千円	2,430	1,215	2,483	1,242	2,195	2,195						
		非常勤職員分	13	千円	0	2,830	0	0	0	0						
	総事業費	14	千円	2,330,337	2,391,678	2,334,854	2,367,239	2,345,587	2,433,523							
	単位当たりコスト	15	円	74,000	73,196	74,950	72,060	77,751	79,452							
	財源	受益者負担分	16	千円	0	0	0	0	0	0						
		国からの補助金等	17	千円	0	0	0	0	0	0						
		都からの補助金等	18	千円	45,517	50,000	51,781	0	0	0						
その他の補助金等		19	千円	315,910	312,165	270,450	0	0	0							
特定財源計		20	千円	361,427	362,165	322,231	0	0	0							
差引：一般財源		21	千円	1,968,910	2,029,513	2,012,623	2,367,239	2,345,587	2,433,523							
受益者負担比率	22	%	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0							

平成29年度杉並区事務事業評価表（2）

			整理番号	469	
平成28年度の事業実施状況	(1) 主な取組	内 容	規模	単位	事業費（千円）
		古紙・びん・缶の回収業務委託			
		ペットボトルの回収業務委託（中継、搬送業務含む）			350,911
		プラスチック製容器包装回収業務委託			557,740
		中間処理委託（回収した資源の中から異物を取り除き、圧縮・梱包する）			605,084
		その他（消耗品の購入 ほか）			23,585
平成28年度の事業実施状況	(2) 事業実績	古紙、びん、缶、ペットボトル、プラスチック製容器包装を回収し、中間処理施設まで運搬し選別・圧縮等を行い再利用施設へ搬入し資源化を図りました。古紙の持ち去り対策では持ち去り厳禁と記載した新聞等の古紙排出袋を区内施設25カ所（区民事務所等）に置き、区民に提供すると共に、早朝回収や早朝パトロールを行っています。			
事業環境の変化と方向性	事業開始当初から現在までの変化	平成11年6月からびん・缶・古紙の集積所回収を開始し、平成12年度の清掃事業の区へ移管以降は平成18年10月から雑紙を、また平成20年4月からはペットボトルとプラスチック製容器包装の集積所回収をはじめると、着実に行政回収が定着しています。排出抑制の周知等により、資源回収量は減少傾向にあります。また、区民からの集積所の分散の要望が増えていることによる集積所の細分化が進み、回収時間が長くなってきております。また、市況によって資源が高額で売却できるため、特に新聞等古紙の持ち去り行為が行われています。			
	事業に対する意見（事業に対する期待・要望・苦情など）	集積所における回収漏れ等の問い合わせがあります。回収後の排出等も考えられますが、単純に収集漏れの場合もあります。資源の持ち去り行為に対しては、禁止命令書の交付、氏名等公表にとどまらず、さらに厳しい対応を求める区民の要望もあります。また、区民からの目撃情報も寄せられています。			
	今後（3～5年）の予測と方向性	ごみの排出量は年々減少傾向にあり、それに比例し資源回収量も減少しています。さらに分別に対する区民の方々のご理解とご協力を得ながら、より良質な資源の確保に努めていきます。今後も排出抑制に取り組み、資源化率の向上に努めていきます。			
評価と課題		今後も委託事業者と協力し、安定、安全で着実な資源回収を行います。分別に関する普及啓発を行い、区民の理解と協力を得て、より良質な資源の確保を進めていきます。資源の持ち去りについてはパトロール等の実施により、持ち去り行為者は減少していますが、今後も警察や事業者などの関係する機関と協力し抑止・防御・告発と粘り強く対応して、撲滅を目指してまいります。			
翌年度の方針	翌年度予算の方向性（見直しの視点）	I 事業コストの方向性	現状維持		
	II 事業の改善の方向性	手段・方法の見直し（改善）			
翌年度の方針	翌年度予算の方向性の理由・内容	資源の排出者である区民へ周知するため、資源の収集カレンダーや区のホームページ、スマートフォンアプリ「なみすけのごみ出し達人」などの媒体を通して、広く区民に分別についての理解と協力を得て良質な資源の確保に努めます。資源持ち去り対策については撲滅を目指し、今後も早朝パトロール、早朝回収等を実施し粘り強く対応してまいります。			

平成29年度杉並区事務事業評価表(1)

(00450)

事務事業名称			ごみ・資源の排出の適正管理				款	06	項	01	目	03	事業	006	整理番号	470								
現担当課名			杉並清掃事務所		係名		管理係		連絡先電話番号		3392-7281		昨年度整理番号		466									
上位施策No・施策名											10		ごみの減量と資源化の推進				予算事業区分		既定事業					
事業開始			平成12年度		実行計画事業		目標		03		施策		10		計画事業		03		主要事業(区政経営報告書掲載事業)					
平成28年度担当課名			杉並清掃事務所													事業評価区分		一般						
対象			区民及び区内事業者並びに区内建築物所有者及び管理者				根拠法令等		(1)		廃棄物の処理及び清掃に関する法律						(2)		杉並区廃棄物の処理及び再利用に関する条例					
事業の目的・目標(対象をどのような状態にしたいのか)			ごみの分別の徹底を働きかけ、カラス等による集積所の被害を防止するために区民等が取り組みやすく、より低コストで効果的な方策で、集積所の衛生状態やまちの美観を保持する。 区の収集を利用する事業主に対し、適正なごみ処理券の貼付を働きかけることで、負担の公平性を確保する。				活動指標		指標名(1)		ふれあい指導件数						指標名(2)		折り畳み式収集ボックスの配布数					
活動内容(事務事業の内容、やり方、手段)			事業活動に伴って出たごみ・資源を区の収集に出す事業者に対し、適正な事業系有料ごみ処理券を貼付するよう調査・指導する。 ごみ排出の適正化指導、集積所のカラス等による被害の防止対策、大規模建築物の所有者への排出指導などを行う。				成果指標		指標名(1)		カラス被害のある集積所割合						指標名(2)							
区分			単位		平成26年度		平成27年度		平成28年度		平成29年度		平成28年度											
					実績		計画		実績		計画(目標値)		実績		計画		対計画比(%)							
指標			活動指標(1)		1		件		7,760		6,000		5,869		4,500		3,581		4,000		79.6			
			活動指標(2)		2		個		1,147		1,200		1,326		1,200		1,565		1,200		130.4			
			成果指標(1)		3		%		1.0		0		2.5		0		1.7		0		0.0			
			成果指標(2)		4																			
総事業費・コスト把握			事業費		5		千円		61,502		64,540		56,814		69,086		63,377		98,302		平成28年度 予算執行率(%)		91.7	
			(内)投資的経費等		6		千円		0		0		0		0		0		0				特記事項	
			(内)委託費		7		千円		18,854		21,249		18,606		21,234		18,347		34,208					
			職員数		8		人		37.20		31.73		33.66		29.50		33.84		34.35					
			再任用職員数		9		人		1.02		1.11		2.00		2.00		0.00		0.00					
			非常勤職員数		10		人		0.05		1.00		1.00		1.00		1.00		0.60					
			人件費		11		千円		327,732		279,541		294,424		258,037		289,738		294,105					
			再任用職員分		12		千円		4,131		4,496		8,278		8,278		0		0					
			非常勤職員分		13		千円		142		2,830		2,935		2,935		2,971		1,783					
			総事業費(5+11+12+13)		14		千円		393,507		351,407		362,451		338,336		356,086		394,190					
			単位当たりコスト((14-6)÷1)		15		円		50,710		58,568		61,757		75,186		99,438		98,548					
			受益者負担分		16		千円		28,737		30,294		29,363		30,583		28,466		41,144					
			国からの補助金等		17		千円		0		0		0		0		0		0					
			都からの補助金等		18		千円		280		445		264		387		267		313					
			その他の補助金等		19		千円		0		0		0		0		0		0					
			特定財源計(16+17+18+19)		20		千円		29,017		30,739		29,627		30,970		28,733		41,457					
			差引:一般財源(14-20)		21		千円		364,490		320,668		332,824		307,366		327,353		352,733					
			受益者負担比率(16÷14)		22		%		7.3		8.6		8.1		9.0		8.0		10.4					

平成29年度杉並区事務事業評価表（2）

				整理番号	470
平成28年度の事業実施状況	(1) 主な取組	内 容	規模	単位	事業費（千円）
		有料ごみ処理券印刷実績	1,586,100	枚	8,658
		動物死体処理委託	641	頭	1,938
		折り畳み式収集ボックス（1565台）、カラスネット(844枚)の配布	2,409	台	27,022
		その他（ごみ処理券印刷、大規模建築物指導、ふれあい指導用消耗品ほか）			25,759
平成28年度の事業実施状況	(2) 事業実績	<p>ごみ・資源の集積所でのカラス被害を防止するため、折り畳み式収集ボックスやカラスネットの配布又は交換を継続して行い、道路・まちの衛生保持、美観の向上に努めました。 また、「ふれあい指導班」による、ごみの正しい分け方や出し方、ごみの資源化に関する啓発活動を行いました。 さらに、廃棄物管理責任者講習会を平成28年9月と平成29年2月に開催しました。</p>			
事業環境の変化と方向性	事業開始当初から現在までの変化	<p>平成20年度から、不燃ごみのうち廃プラスチックや皮革製品などを、可燃ごみへ分別変更し、サーマルリサイクルを開始しました。また、プラスチック製容器包装、ペットボトルを新たな資源として回収を始め、古紙も分類に雑がみが加わるなど、ごみの減量と資源化を進めています。 相隣関係の困難さやごみ排出適正化の推進、狭小路地地区へのきめ細かな収集サービスの提供などにより、ごみ・資源集積所の分散化が年々進む傾向にあります。 平成29年10月にはごみ処理経費と受益者負担との見直しにより、ごみ処理手数料の改定を予定しています。イラスト活用した集積所看板は、平成29年度中に既存の看板との交換をすべて完了する予定です。</p>			
	事業に対する意見（事業に対する期待・要望・苦情など）	<p>区民の環境への関心が高まっているなかで、ごみ・資源集積所の管理や、ごみ・資源の分け方・出し方に関する質問や要望・苦情が多数寄せられています。なかでも、戸別収集や外国人に対する分別方法等の周知を求める意見がいくつも寄せられています。</p>			
	今後（3～5年）の予測と方向性	<p>カラスの生息数の減少と対策の効果により、集積所の美化は進むと予想されます。一方、ごみ・資源集積所の管理方法や、ごみ・資源の分け方・出し方は自治体ごとに異なるため、毎年、多数の転出入がある杉並区では、区民や事業者からの問い合わせや要望が引き続き多数寄せられると推測されます。 外国人居住者の増加に伴い、ごみの出し方・分別方法の周知を徹底するよう求める要望が、これまで以上に増加すると予想されます。 オリンピックの開催に伴い、民泊のごみ出し指導が課題として浮上する可能性があります。</p>			
	評価と課題	<p>ごみの分別の徹底や資源化の推進により、区民一人1日当たりのごみ量は23区で最少となっています。より一層の分別の徹底に向け、若年層や単身世帯、地域の生活ルールに不慣れな外国人などへの分別方法の周知を図るため、イラストを活用したわかりやすい集積所看板の設置を進めます。なお、外国人居住者対策は重点課題として、集積所看板の工夫以外にも様々な方策を検討していきます。 また、事業者に対しては事業系有料ごみ処理券が必要な旨の周知や排出指導を強化することで、貼付率の向上を図るとともに、平成29年10月の料金改定に向け、ふれあい指導を通じた周知・案内を強化していきます。</p>			
翌年度の方針	翌年度予算の方向性（見直しの視点）	I 事業コストの方向性	現状維持		
	II 事業の改善の方向性	手段・方法の見直し（改善）			
翌年度の方針	翌年度予算の方向性の理由・内容	<p>ごみの減量のためには、ごみ・資源の分別の徹底と排出者責任を明確にすることが肝要です。今後も区民や事業者に対し、ごみの分別と資源化の徹底を働きかけていきます。 折り畳み式収集ボックスの配布の迅速化を図るため、在庫管理の徹底と配布までの期間を短縮する方策の検討を進めます。 「ふれあい収集」時には、ごみが出ていない場合には声かけをするなどして、対象者の安否確認を積極的に行っていきます。特に夏場の熱中症対策の一環として、安否確認の強化を行うなど福祉分野と連携した区民サービスの向上に努めていきます。</p>			

平成29年度杉並区事務事業評価表（１）

（ 00453 ）

事務事業名称 清掃車の運行及び維持管理			款 06	項 01	目 04	事業 001	整理番号 473				
現担当課名 杉並清掃事務所		係名 管理係	連絡先電話番号 3392-7281			昨年度整理番号 469					
上位施策No・施策名 10 ごみの減量と資源化の推進						予算事業区分 既定事業					
事務事業の概要	事業開始	平成12年度									
	平成28年度担当課名	杉並清掃事務所				事業評価区分	施設維持管理				
	対象	区所有清掃車両（ごみ収集車、軽ダンプ車、連絡車）51台	根拠法令等 (1) (2)	杉並区廃棄物の処理及び再利用に関する条例 道路運送車両法							
	事業の目的・目標（対象をどのような状態にしたいのか）	加害事故「0」の実現と継続 前年件数の半減を目標とし加害事故を根絶させる。 作業計画に基づいた直営清掃車両の搬入回数 計画数内の搬入を目標に効率的な運行を目指す。	活動指標 指標名（1） 指標説明 指標名（2）	交通安全講習会等の開催回数 年間延直営清掃車走行距離数							
	活動内容（事務事業の内容、やり方、手段）	車両を安全・適切に運行するため整備する。 安全運転への意識を向上させ、連続無事故日数を更新する。 各種の講習会を実施し、安全運転技術のスキルアップを図る。	成果指標 指標名（1） 指標説明 指標名（2） 指標説明								
区分	単位	平成26年度	平成27年度		平成28年度		平成29年度	平成28年度			
		実績	計画	実績	計画 (目標値)	実績	計画	対計画比(%)			
指標	活動指標（1）	1	回	24	24	24	24	24	100.0		
	活動指標（2）	2	km	276,440	290,105	291,902	276,687	242,407	271,267	87.6	
	成果指標（1）	3									
	成果指標（2）	4									
総事業費・コスト把握	事業費	5	千円	34,352	37,578	28,132	36,236	27,215	32,996	平成28年度 予算執行率(%) 75.1	
	(内) 投資的経費等	6	千円	0	0	0	0	0	0	特記事項 直営清掃車の走行距離が計画を下回り、自動車用燃料費用が減少しました。 使用料の残は、高速道路利用の基準を整理し抑制したことによります。	
	(内) 委託費	7	千円	97	137	81	211	196	137		
	職員数	常勤職員数	8	人	29.16	27.00	29.14	26.00	27.94		26.00
		再任用職員数	9	人	0.00	0.00	0.00	0.00	1.02		1.00
		非常勤職員数	10	人	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00		0.00
	人件費	常勤職員分	11	千円	256,900	237,870	254,888	227,422	239,222		222,612
		再任用職員分	12	千円	0	0	0	0	4,478		4,390
		非常勤職員分	13	千円	0	0	0	0	0		0
	総事業費 (5+11+12+13)	14	千円	291,252	275,448	283,020	263,658	270,915	259,998		
	単位当たりコスト (14÷6)÷1	15	円	12,135,500	11,477,000	11,792,500	10,985,750	11,288,125	10,833,250		
	財源	受益者負担分	16	千円	0	0	0	0	0		0
		国からの補助金等	17	千円	0	0	0	0	0		0
		都からの補助金等	18	千円	0	0	0	0	0		0
その他の補助金等		19	千円	0	0	0	0	0	0		
特定財源計 (16+17+18+19)		20	千円	0	0	0	0	0	0		
差引：一般財源 (14-20)		21	千円	291,252	275,448	283,020	263,658	270,915	259,998		
受益者負担比率 (16÷14)	22	%	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0			

平成29年度杉並区事務事業評価表（2）

				整理番号	473	
平成28年度の事業実施状況	(1) 主な取組	内 容		規模	単位	事業費（千円）
		自動車用燃料		51	台	9,211
		車両点検整備		51	台	14,893
		維持管理経費（車両消耗品、保険料・公課費等）		51	台	3,111
		その他（ ）				
(2) 事業実績	車両点検整備の実施 3か月点検34台 6か月点検44台 12か月点検20台 架装点検235台 車検事前点検27台 各種研修・講習会の実施 交通安全講習会（11回） 安全運転特別講習会（5回） 運転実技指導（6回） 車両後退誘導研修（2回）					
事業環境の変化	事業開始当初から現在までの変化					
	事業に対する意見（事業に対する期待・要望・苦情など）					
	今後の予測					
評価と課題	これまで各種研修や講習会を実施し安全運転技術及び安全運転に対する意識の向上に努めているところですが、引き続き交通事故の根絶に向けた取組強化が課題となります。 平成29年10月の新杉並清掃工場の稼働に伴い、収集コースや収集曜日等の変更が生じます。区民生活への影響を最小限にするような作業計画を作成し、区民への周知を徹底します。 清掃車両の保有台数については、清掃車両のコストを考慮し、年々減少しているごみ量に応じた減車を図り、委託化等により効率的かつ機動的なあり方を引き続き検討していきます。					
中長期的な改善・見直しの方向	今後の方向性（見直しの視点）	I 事業コストの方向性				
		II 事業の改善の方向性				
今後の進め方						

平成29年度杉並区事務事業評価表（2）

				整理番号	474
平成28年度の事業実施状況	(1) 主な取組	内 容		規模	事業費（千円）
		保守管理委託			43,707
		光熱水費		43,391	
		維持管理経費		5,519	
		施設等整備費		7,157	
		その他（測量委託ほか）		2,983	
(2) 事業実績	<p>老朽化が進んでいる各清掃施設について、各種保守点検や計画的な修繕、緊急の工事を行い、最小限の経費で建物・設備を保全し執務環境の維持に努めました。 杉並清掃事務所の耐震補強工事関連では、建築物構造予備調査を実施しました。</p>				
事業環境の変化	事業開始当初から現在までの変化				
	事業に対する意見（事業に対する期待・要望・苦情など）				
	今後の予測				
評価と課題	<p>各清掃施設の老朽化に伴い、機器設備の不具合や緊急的な修繕などが顕著になっています。とりわけ杉並清掃事務所は築50年を超過し老朽化のみならず耐震性にも課題があることから、災害発生時に機能が停止しないよう、平成29年度に耐震補強工事を予定しています。 また、旧杉並中継所は清掃事業以外の用途にも活用できるようになる平成32年度までに、将来を見据えた区民生活の向上に寄与する有効な活用策を検討していきます。</p>				
中長期な改善・見直しの方向	今後の方向性（見直しの視点）	I 事業コストの方向性			
		II 事業の改善の方向性			
今後の進め方					